



まちのサークル VOL.65

くにみビデオクラブ

プロフィール

- 代表者 高橋 弘信
- 活動日 不定期
- 主な活動場所 町内
- 会員数 12人
- 会費 3,000円/年
- 連絡先 ☎ 585-3998 (庶務・新村国夫)

くにみビデオクラブの歴史は今から30年ほど前までさかのぼります。ビデオクラブが結成された頃は、まだビデオカメラが珍しく、みんなで集まり、1台のカメラで撮影しながら「国見の文化財」「国見の四季」「国見町の紹介」などの映像を作成していました。当時のカメラは、今よりも大きく、テープもVHSでした。カメラも時代の流れとともに、8ミリビデオ、メモリーカードと変化していき、今では、誰でも気軽に記録撮影ができるようにな

りました。みなさんの家庭でも、お子さんの成長記録などを撮影するのに役立っていると思います。ビデオクラブの活動は、ビデオカメラの操作や映像の編集の仕方についてプロが指導し、会員で映像作品作りに取り組んでいます。町文化祭では、義経まつりや鹿島神社例大祭の様子を撮影したものを上映したところ、とても好評でした。特にドローンで撮影した映像は、迫力があり、人気を集めました。ビデオカメラを始めた人や映像を作りたい人はぜひ、ビデオクラブにご参加ください。カメラを持っていない人でも大歓迎です。また、映像を制作するときの企画、音楽、レポーター、衣装、照明などに興味がある方も募集しています。ぜひみんなで作品を作しましょう。ビデオクラブでは、映像制作活動を通して会員同士の親睦を深めています。みなさんの参加をお待ちしています。

国見町民会議開催

東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議が12月27日に開催され、今年度の復旧復興事業の取り組みについて報告するとともに、平成28年度事業の推進を確認しました。

会議では、除染作業の進捗状況、仮置場の確保状況、県北浄化センター下水汚泥対策や農産物等の風評被害対策、健康管理事業への積極的な取り組みが報告されました。

国見町民会議は平成24年12月の設立より丸4年を迎えましたが、これからも活動の先頭を担い、町民一丸となって取り組むことを決議して閉会しました。



「復興のあしおと」では、震災からの復旧・復興に向けた町の取り組みを紹介しします



平成28年産米の全量全袋検査結果について

平成28年産米の全量全袋検査については、みなさまのご協力により検査が終了いたしました。検査袋数は63,618袋で、すべてが測定下限値25Bq/kg未満であり、安全性が高いことが確認されました。

- 実施期間 9月20日(火)から12月6日(火) (稼働日40日)
- 測定袋数 63,618袋 (昨年64,984袋)
- 検査結果

区分	25Bq/kg 未満	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg
袋数	63,618袋 (64,981袋)	0袋 (1袋)	0袋 (2袋)	0袋 (0袋)

下段()については平成27年産米の検査結果

除染の進捗状況 (1月25日現在)

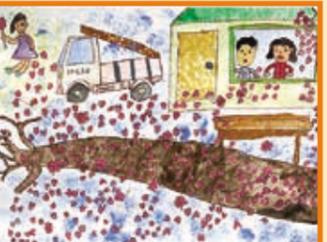
- 道路除染
平成28年度は、町内全域の88.2kmを発注しており、作業終了は62.1km(進捗率70.4%)です。
- 森林(生活圏)除染
平成28年度は、主に森江野方部の宅地等の生活空間に隣接している森林の除染を進めてきましたが、12月26日をもって現場での作業を終了しました。

国見小学校 (4年生)

小さな天才たち



高橋 凜



佐藤 圭将



佐藤 頼



引地 麻緒